



中央アルプス(中川村)

2003年10月22日(水)

# 自律新聞

第2号

飯島町・中川村・宮田村の自律を考える

★自律をめざす町村長の名言集2★

「市町村合併になぜ異議を唱えるのか。それは、この山里に生きるものの幸せを思うとき、村の規模を拡大しても、この皆さんの幸せを守ることができるかと到底思えないからである。」

長野県泰阜村長 松島 貞治さん※1

## 【きょうの疑問2】 合併しないとやっていけないのか? ②



### 自律をめざす下伊那郡泰阜村の改革

泰阜村は、人口 2,158 人(2003 年 6 月 1 日現在)の過疎の村ですが、自律をめざす姿勢が注目を集めています。助役を置かないことで 1,100 万円を削減、また 12 名の議員を 10 名に減らして 500 万円を抑制。これだけで村の予算の 0.8%を削減したことになります。また、職員数は 15 人削減されました。一方で在宅医療に力が注がれており、老人医療費は県内で 5 番目に低く抑えることができ、国民健康保険税には県内で最も安い保険料で運営されています※2。日本経済新聞は、「国が 0.8%、4,000 億円をリストラでひねり出そうとすれば、霞ヶ関の課長 34,000 人をクビにせねばならない。小さな村の大きな決断に、国はついていけない。」と泰阜村の取り組みを評価しています※3。



### 宮田村が取り組む行財政改革について

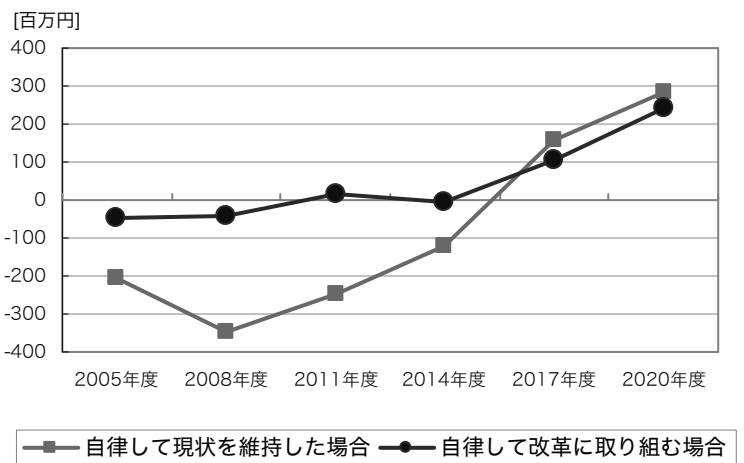
特色ある村づくりで注目される宮田村も、今年度から本格的な行財政改革に取り組んでいます。職員給与を人事院勧告(国家公務員・地方公務員と民間の給与を比較し、給与や手当を改めるよう求めるように人事院が出す勧告)に加え、さらに 2%上乗せして削減(長野県ではじめて)。臨時職員も給与の約 5%を削減しました。また、55 歳以上の昇級を停止し、退職者分の補充を見送り、通勤手当も抑制。加えて、7 課を 4 課に統合し(3 課にすることを検討中)、それにともない課長職も削減しました。

特別職の給与は村長が 6%、助役・収入役が 5%、教育長は 4.5%を減らしました。なお、現在は収入役を置いていません。村議会では議員数を 16 人から 4 人削減することを決定。村長および議長の交際費も 20%削減しました。また、選挙管理委員、監査委員、民生委員、農業委員、消防団、教育委員、公民館長、社会教育指導員、図書館長は報酬を 5%抑制。区長、各部長、班長の手当を 1,000 円減らし、農政・衛生班長は廃止。保健指導員、分館長・主事、体育部長は 1,000 円削減。消防団交付金も抑制し、イベントは開催間隔や内容についての見直しを行いました。その他にも多岐にわたる分野で改革が進められています。

一方、村民にも村づくりへの協力をお願いしました。保育料は 5%アップし、今まで無料だった村民会館・体育館・グラウンドなどの使用料は村外利用者の 30%を、マレットゴルフ場は村外利用者と同一 200 円の使用料を徴収。

今後も、職員数を 26%削減(類似町村並みにする)し、委託している庁舎清掃を職員が行うなどの行政改革で 7,000 万円から 1 億 7,000 万円を削減、加えて村税の収納率向上や不用品村有地の売却などの財政改革が検討されており、右のグラフの通り黒字を増やして自律する道が開かれています。

◆宮田村が自律する場合の歳入と歳出の差



### 約 32 億円もの借金を 9 年で返済した町があります

福岡県赤池町は、人口 18,000 人の町でしたが、炭鉱閉鎖の打撃をうけて 8,770 人(1970 年)にまで落ち込んだ町です。その後も企業誘致の失敗、町立病院の債務などが膨らみ、多額の赤字を背負いました。

1992 年に財政再建団体(市町村は赤字の比率が 20%を超えると借金ができなくなるため、財政再建計画を立てて財政の健全化を図るもの※4)となって改革に取り組みます。職員数や給与を削減し、時間外手当なども見直されました。16 課を 13 課に統廃合、町長などの報酬も全国最低レベルに抑制。さらに、大規模な公共事業を抑制し、道路や公共施設の草刈の一部や、簡単な工事は役場職員が行うなどして経費の削減に努めました。また、住民に対しても負担をお願いし、公民館活動や敬老会などの補助費を抑えるとともに、水道料金は 1 m<sup>3</sup>当り 1,080 円から 1,210 円に、テニスコートの使用料は 1 時間 600 円から 950 円に変更されるなどしました。一方で住民が町づくりに積極的に関わるようになり、予定より 2 年も早く財政再建を達成しました。\*5 【裏面に別のコーナーがあります】



担当：宮田事務局

『市町村合併よりも自律の町村づくり』刊行委員会

〒399-4399 長野県 宮田郵便局私書箱 1 号

## 【わが町・わが村レポート2】中川村が合併したら—任意合併協議会の資料を読む—①

中川村では15日より地区懇談会が開かれ、村による合併問題の説明が行われています。予定ではこの説明会を11月初旬に終え、永住外国人を含む18歳以上の全住民を対象にした意向調査を、11月中旬より行うことになっています。住民投票条例案が議会において否決された現段階では、住民の意思表示する機会は意向調査ということになります。

さて、任意合併協議会の作成した住民説明会用の資料には、新市の全体像が夢のように描かれています。しかし合併した後の中川村がどうなるのかと言うことは、具体的にはほとんどわかりません。

### 4 市町村の財政指標(14年度)によると中川村は?

「1」に近いほど豊かだと説明される財政力指数は、「0.216」で中川村が4市町村の中で一番悪いようです。しかし貯金に当たる基金残高は一人当たり20万円で他市町村のほぼ倍以上。この事は必ずしも財政力指数だけが全ての判断基準では無い事の証明でしょう。説明会では中川村の財政力指数が低いことばかりが強調されますが、むしろ苦しい財政の中でも貯金をしてきた、地道な努力や工夫が評価されるべきです。



### 合併による一体的・総合的なまちづくりと中川村

確かに一部事務組合など、伊南4市町村や上伊那10市町村は様々な分野で協力関係を結び応分の負担をしております。しかし、だからといって合併して一体的・総合的なまちづくりというのは無理があるのではないのでしょうか。殊に周辺部となる中川村が「駒ヶ根市と一体的・総合的なまちづくり」といっても、現実的な実感はほとんどありません。中川村が独自性を持ち、自律した村として誇りを持つ中で協力しあうことが、真に対等の協力関係であると思います。

### 周辺部となる中川村の衰退は避けられない

説明資料によると「新市建設計画」を策定し、特定の地域の整備を先送りせず、周辺地域にこそ意を注いで対策を講ずる配慮が必要とあります。

14年度の中川村の予算は約35億円であり、中川村の運営のために使われました。しかし合併すれば、どの程度が中川村のために使われるのでしょうか。10年間は今まで通りだという中川村分の地方交付税は、新市において中川だけに使われる保証はありません。

つまり総合支所方式だとか、様々な不安解消のための施策が説明されていますが、最大の消費団体である役場がなくなり、その多くが駒ヶ根に集中する中、中川のサービス業、小売業、建設業を中心とする商工業者が受けるダメージは相当大きなものです。合併による中川経済のマイナス効果は計り知れません。合併しても周辺地域に対する配慮では、そこまでの想定はされていません。

過去の他市町村の合併の周辺地域の衰退はそこから始まっているのであり、今回の中川村の合併問題も「さびれ」の問題は避けて通れません。

### 中川村にとって合併特例債とは?

国が奨励する合併の目玉は合併特例債であるともいえますが、いずれ無意味な負担となるのではないのでしょうか。特例債の仕組みについての説明はされても、具体的に何に使うのかは説明されていません。任意合併協議会では総枠228億円のうちの90億円を利用することを考えています。「新市建設計画のない現段階では」との但し書き付きです。いずれ新市の庁舎が建設される可能性もあり、合併特例債はさらに増額されることも考えられます。中川ではどのようなところに合併特例債が適応されるのか、将来どのように負担していくつもりなのかを村民に示す必要があります。

今後、中川村で想定される問題点などを掲載します(次回の「中川村が合併したら—任意合併協議会の資料を読む—②」は第5号に掲載します)。ご意見や問題点などをお寄せいただき、多くの皆様のご協力により良い情報提供が出来れば幸いです。

担当:中川事務局

#### 【参考文献】

※注1・2=[参考文献]松島貞治・加茂利男『「安心の村」は自律の村—平成の大合併と小規模町村の未来(長野県・泰阜村)』、自治体研究社、2003年。 ※注3=2005年1月14日付け「日本経済新聞」、 ※注4=[参考文献]肥沼位昌『図解 よくわかる自治体財政のしくみ』、22-23頁、2002年。 ※注5=[参考文献]橋本行史『財政再建団体—何を待て、何を失うのか—赤池町財政再建プロセスの検証(地方自治ジャーナルブックレット No28)』、2001年。

★お問い合わせ★	★賛助金のお願いについて★	★次号の予告★
『市町村合併よりも自律の町村づくり』刊行委員会(〒399-4399 宮田郵便局私書箱1号) ・宮田事務局:天野早人(000-0000-0000) ・中川事務局:湯沢賢一(000-0000-0000) ・飯島事務局:松村まゆみ(000-0000-0000) ・F A X:(0000-00-0000)	本紙は飯島町・中川村・宮田村の住民有志で発行しており、その趣旨にご賛同いただいた皆さまからの賛助金で支えられています。本会の研究活動と情報発信へのご理解ご協力をお願い申し上げます。 <b>八十二銀行 宮田支店 普通 156085</b> 市町村合併よりも自立の村づくり刊行委員会	第3号(通常版)は明日10月23日(木)に発行します。 ・合併しないとやっていけないのか?③(担当:宮田事務局) ・「飯島町の合併について意思を問う住民投票を求める陳情」不採択に(担当:飯島事務局)